

平成21年10月21日

平成21年 第10回

東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

平成21年第10回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成21年10月21日（水曜日）午後2時00分～午後2時26分

2. 場 所 東大和市役所会議棟第6・7会議室

3. 出席委員 1番 鈴木敏彦（委員長）

2番 小泉美佐子

3番 土田 豊

4番 武石修一郎

5番 佐久間 榮 昭（教育長）

4. 欠席委員 なし

5. 説明職員

学校教育部長 阿部晴彦 社会教育部長 窪田きく江
兼体育課長

学校教育部 今城 徹 建築課長兼
参事兼 教育施設担当 堂垣隆志
指導室長 副参事

学校教育課長 下平一紀 給食課長 猿橋壽一

統括指導主事 布宮英明 社会教育課長 高杉春行

中央公民館長 長島孝夫 中央図書館長 松井 悟

指導主事 阿部啓介 指導主事 川島直人

6. 書 記

庶務係長 尾又斉夫 主 事 谷本 惇

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 その他報告事項 (1) 小・中連携教育について
(2) 特別支援教育の進捗状況について
(3) 東大和市学校規模等のあり方検討委員会委員公募の
状況について

◎開会の辞

○鈴木委員長 ただいまから平成21年第10回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○鈴木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
会議録署名委員は、土田委員にお願いいたします。

◎日程第2 教育長諸務報告

○鈴木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。

○佐久間教育長 それでは、平成21年9月26日から平成21年10月17日の間の諸務報告を申し上げます。

平成21年9月26日、第十小学校の運動会を見学いたしました。

9月27日、ふれあい市民運動会に参加いたしました。当日は、約1,300人の市民の参加がありました。

10月1日、市議会全員協議会に出席いたしました。議題は2件ありまして、2件とも教育委員会関係の議題でありました。1件は、第八小学校と第十小学校の児童数の調整を図るため、第八小学校の通学区域に調整区域を設ける案について説明したものであります。2件目は、学校給食計画（案）について説明したものであります。

10月2日、教育委員学校訪問で第二小学校を訪問いたしました。

10月3日、第一小学校の運動会を見学いたしました。この日は、応援合戦を終了した時点で雨が降り出し延期となりました。

同日、東大和市市政功労者表彰式に出席いたしました。今年度の表彰者は71人の方と企業が1社でありました。

同日、上北台公民館まつりを見学いたしました。上北台公民館まつりは、10月3日と4日の両日に行われまして、約1,200の方が来館されました。

10月4日、第三小学校、第七小学校、第八小学校、第九小学校の運動会を見学いたしました。

10月6日、定例校長会に出席いたしました。私からは、新型インフルエンザで心配されましたが、移動教室、修学旅行がともに無事に終了したことについてのお礼と、今後寒さに向かったの対策をお願いしたいということをお願いしました。

同日、学校給食センター運営委員会に出席いたしました。学校給食計画（案）についての教育委員会からの諮問をお渡ししたものであります。

10月7日、東京都市教育長会に出席いたしました。平成22年度の東京都予算に対する要望を取りまとめる委員の選任、東京都教育庁の幹部との懇談会での項目をどのように選ぶか等について、方法論を協議いたしましたものであります。

10月9日、青少年問題協議会に出席いたしました。平成22年度の青少年健全育成方針をどうまとめるかの方法、それから善行青少年表彰の対象者の選定方法等について協議いたしました。

同日、教育委員懇談会に出席いたしました。

10月10日、第四小学校の運動会を見学いたしました。

10月13日、第一小学校の運動会を見学いたしました。10月3日に延期となっていました運動会が行われたものであります。

10月15日及び16日、東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修会に参加いたしました。研修会は、行きのバスの中での各市町村の教育の情報の発表、質疑を行いまして、その後、信濃教育会での研修、視察、それから我が国での最初の小学校と言われる松本市の旧開智学校の視察等が行われました。

10月17日、市民文化祭開会式に出席いたしました。市民文化祭は、10月17日から11月3日までの17日間で行われることになっております。

以上で報告を終わらせていただきます。

○鈴木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたらご発言をお願いいたします。なければ、私のほうから1点お尋ねします。

10月1日の小学校区域の調整区域の設定について説明があったようですが、議員のほうから特別なご意見はございましたでしょうか。

○阿部学校教育部長 全員協議会におけます第八小学校の調整区域の設定につきましてご説明を申し上げたところでございますが、議員の皆様からは特に大きなご質疑はございませんでした。

ありましたのは、調整区域の対象となっている児童、新しい1年生とそのお兄

さん、お姉さんの関係、兄弟関係というものの配慮がされていることの確認ですとか、また今後の東大和市教育委員会が別途進めております市内全域にかかわる学校の適正規模等のあり方、そちらの構成などがどのようなものなのかと、そのような確認事項が主でございました。

また、第八小学校の推計される来年度どのぐらいの1年生が入ってくると推計しているのかというような数字的なものにつきましても、確認といたしますか質疑がございました。

以上でございます。

○鈴木委員長 わかりました。ありがとうございます。

ほかございませんね。

質疑を終了いたします。

◎その他報告事項

○鈴木委員長 報告事項（1）小・中連携教育について。

○今城学校教育部参事兼指導室長 それでは、私から東大和市立小・中学校における小・中連携教育の推進についてご報告差し上げたいと思います。

その他報告事項（1）の資料に基づいて説明を差し上げたいところでございます。

東大和市教育委員会の基本方針、そして平成21年度の課題と改善6項目を置かせていただいている中の5つ目に、小・中学校の連携教育の推進というふうな項目が挙げられております。

この教育委員会の方針、そして課題と改善に沿って、小・中連携教育を現在進めているところであります。各小・中学校、中学校区ごとの連携教育を既に実際に進めてくださっているところであります。それをこれからもう一歩進んできちんと体系化をして、そして東大和市教育委員会としての方針に沿った連携教育を進めていくという考えで、このような検討資料を作成させていただきました。

この資料につきましては、今年度当初から校長会、そして副校長会に資料を提供いたしまして、または調査をかけさせていただいて、そしてこの1学期終了時点の段階で、私がまとめたものが最初の1枚目の表裏となります。

2枚目につきましては、1学期に現段階でのこれまでの小・中連携の各中学校区の取り組み、そして今後の計画について各学校に調査をかけさせていただき、

それを若干分類をつけましてまとめさせていただいたものであります。

これを見ますと、それぞれの中学校区ごとに昨年度、もっと前からのところもありますけれども、主に昨年度からかなり連携教育が進められているということがはかり知れると思います。

分類の仕方としましては、a、b、c、dと4つの分類をつけました。aは指導計画の整備に関するものです。小・中の系統性が図られた指導計画に関するもの、bにつきましては、教員、小・中または小・小の教員の交流に関するもの、cにつきましては児童・生徒の交流に関するもの、dにつきましては、地域、保護者との連携に関するものでございます。

表の中にかぎ括弧でつけている一とか二とか三、四、五、これは各中学校の数字を示しています。〔一〕というのは一中学区です。つまり、一中と一小と四小の取り組み、〔二〕と書いてあるのは二中学区でありますので、二中、二小、五小、〔三〕は三中を中心とした三小、五小、六小、〔四〕は四中と八小、十小、そして〔五〕は五中と七小、九小の各中学校区での取り組みでございます。

1枚目に戻っていただきまして、1番に上げさせていただいたのが、今説明差し上げました小・中連携教育の現状を把握すること、ここから今年度スタートしております。5月27日に依頼して、8月21日に校長会、そしてその後の副校長会でこの状況のまとめを報告いたしました。

2番目につきましては、これはこれからの取り組みになります。まずは、東大和市教育委員会としての基本的な方針を策定すること、そこに上げましたように、目的ですとか目指す学校、児童・生徒象、基本的な考え等どのように小・中連携教育をもとにして策定していくかという部分です。大きく（1）から（3）まで上げました。

3番目は、基本方針に沿って実際にどのような進め方をしていくか、具体的な実施方策を策定すること。これにつきましては、先ほど仕分けしましたa、b、c、d、4つの観点から考えていく必要があるかなと今考えております。

さらには、市としての組織の確立が必要かなというふうに考えております。小・中連携教育の検討をする大もとの委員会の設置ということでございます。

さらには、実際に先ほど言いました指導計画を作成していく、オリジナルの形をつくっていくためには、その作業をしていただく部会の設置も必要になるだろうというふうに考えております。

そのほかにもさまざまな部会組織が必要になるだろうということで、組織を確立していくことが必要である、これにつきましては来年度に向けた取り組みになります。

4番目は、今度は市の方針、方策に沿って、各中学校ブロックの実施方策を作成する。今度は、各中学校区のそれぞれの地域の特性、学校の特色等がございますから、その特性、特色を生かしていただいた独自の方策を打ち立てていただくということを考えております。

裏面につきまして、その他ということでありまして、今、校長会等からのご意見を聞くと、校長、副校長まではかなり小・中連携教育についての理解は深まっていて、そしてこの必要性を十分認識しているところだということです。

主幹まで伝わっているかどうか、伝わっているというのは、つまり意識が高まっているかどうか、さらにほかの主任教諭、教諭、この方々の小・中連携教育に対する必要感、価値、このようところが十分周知徹底できているかどうかを課題であるというのが校長会の中から出てきております。

これにつきましては、各学校で先生方への理解の深まりと、そして意識啓発をお願いしているところでございます。

さらには、(2)の保護者、地域への啓発、これも非常に重要な、先ほど言いました分類で言うとdの分類になります。地域や保護者の協力、これが非常に必要になってくるであろうと考えますと、これも必要かなと思っております。

これを踏まえて、今後のタイムスケジュールを作成することということで、21年度、今年度後半になりますけれども、今まで言ったことを各学校の先生方、そして保護者、地域の方々に十分周知していただくこと、これがこれからの重点かなと考えております。

そして、来年度に向けた組織づくりの原案を作成して、体制づくりを図ることということです。

来年度につきましては、実際に検討委員会の設置、そして検討委員会作業部会による実践がスタートする、そして23年度は22年度に作成しましたさまざまな方策等につきまして検証していく時期になるのかなというふうに考えているところでございます。

続きまして、資料の5枚目になります。

5枚目は、これは中学校長会から資料提供をいただいたものでございます。東

大和の公立の中学校長会では、今年度の研究、研修の主題を小・中学校連携教育推進上の中学校の役割ということで、これはそこにもありますように、東大和の方針に沿って中学校長会が設定して下さったテーマであります。

先ほど私が話した教育委員会の方針、考え方を基盤にして、中学校長会として、中学校としてどんな役割があるかということで、今年度研究を進めてくださっているところでもあります。

この資料は10月2日に、北多摩北地区中学校長会の研究発表で、中間発表として佐々木四中の校長先生、中学校長会長が発表した内容の資料でございます。

その次のページは、パワーポイントで提示した資料をその後につけさせていただいております。

さらには、小学校長会のほうも小・中連携について取り上げているのと同時に、副校長会は小・中合同で行っております。副校長会でも、小・中連携教育のあり方について、その中での副校長の役割について、本年度研究を進めくださっているという現在の状況であります。

現段階での小・中連携教育に向けての取り組み状況を説明、報告させていただきまして、この件については、先ほどもお話ししました校長、副校長には、この会あるごとに私のほうから話をさせていただいているところでございます。

今後の進捗についてですけれども、また教育委員の皆様方からもさまざまなご意見等を聞かせていただいて、基本方針、そして基本方針に基づいた実施方策を年度後半作成していく資料とさせていただきたいなというふうに考えて今日報告をさせていただきました。

なお、今日まだこの資料をお配りしたばかりでございますので、できましたら、次回今度教育委員会の懇談会がありますので、そのときにまた皆様方のご意見、ご感想、また質問等をお聞かせいただければありがたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があればご発言をお願いいたします。

では、私のほうから先に、昨日研修会で、市内の小学校の校長先生とお会いしたときに、ある校長先生が、今度は東大和市は小・中連携の推進ですねというお声をかけていただきました。室長の今の報告にもありましたように、かなり校長

先生段階で意識が高まってきて、意欲的に取り組んでくださっているなということを感じました。

中学校の小・中・高連携教育推進上の中学校の役割という研究テーマは、非常に適切なテーマを取り上げていただいて、しかも北北の校長会で発表までされるということですので、他地区の情報もきっと入ってくるんだと思います。この研究の成果を期待して見守りたいと思っております。

もう一点ですが、この小・中連携教育について、系統的に計画を立てていただいて目標を設定して、組織化を図って、タイムスケジュールまで考えた具現化を進めていただけるということは大変ありがたいことで、期待の持てることで、この内容は私は保護者や市民の方々の期待がとても大きい内容だと思いますので、ぜひ積極的に推進をしていただきたいと期待を込めて感想を申し上げたいと思います。お願いします。

ほかにお話ございませんか。

では、室長からお話がありましたように、今日配られた資料ですので、よく読ませていただいて、また懇談会のときに話し合いを深めさせていただきたいと思っております。お願いします。

報告事項（２）特別支援教育の進捗状況について、本件の報告をお願いいたします。

○阿部学校教育部長 その他報告の関係です。

特別支援教育の進捗状況についてであります。教育委員会では、これまで国、都の動向を踏まえまして、特別支援教育の推進にかかわるいろいろな取り組みを平成19年に教育委員会の事務局に設置をいたしました特別支援教育検討委員会での検討の結果を踏まえながら進めてまいりました。

今年度につきましては、既に市報の9月15日号をご覧いただけたらと存じますが、1面に特別支援教育の特集号を掲載するなど、これまで課題となっておりました特別支援教育の周知、啓発に特に力を入れております。

本日、席上に配付させていただきましたパンフレット、緑の表紙でございますが、「子どもたちが楽しく生き生きと学校生活を送るために」を作成いたしましたので、ここでは概要をご報告させていただきます。

このパンフレットは、新しく入学する小学1年生の保護者を対象に、特別支援教育とはつながる教育であること、またみんなで支え合うものであることをご理

解いただけるようにとの思いから作成したものでございます。

また、就学に向けた日程や、また相談機関にもこの情報を盛り込むことで、保護者の就学にかかわる不安を取り除き、また安心して相談できるようにと留意いたしました。

次に、パンフレットの中に1ページ目をめくりまして、2ページのところにあるかと思いますが、就学支援のシートを配付させていただいておりますのでご覧ください。

就学支援シートとは、幼稚園や保育園からの小学校への円滑な就学を支援することを目的に、保護者と園が小学校に引き継ぎたいこと、また伝えたいことをシートに記入して、就学を予定している小学校に提出いただくものであります。

提出を受けた小学校では、入学に向けた学級編制や指導に役立てるように準備をしたり、また必要に応じて個別指導計画の資料として活用していただくものであります。

今後も各学校における特別支援教育を一層充実させるために、校内支援体制の整備や発達障害などの早期発見、早期支援のための仕組みづくりを中心に組み込んでまいりたいと考えております。

以上であります。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があればご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 ないようですから、質疑を終了いたします。

報告事項(3)東大和市学校規模等のあり方検討委員会委員公募の状況について、本件の報告をお願いいたします。

○阿部学校教育部長 その他報告、東大和市学校規模等のあり方検討委員会委員公募の状況についてであります。教育委員会では、市立学校の適正規模及び適正配置のあり方につきまして、調査、検討するために本年8月にあり方検討委員会の設置要綱を制定いたしました。

現在、検討委員会の設置に向け準備を進めているところであります。

そのうち、公募市民の募集につきましては、10月1日号の市報等で掲載いたしまして、10月15日に締め切ったところでございますが、公募の市民の募集枠3名のところ7名の応募がございました。

今後、公開の場で抽せんを行い、公募市民の3名の枠の委員を決定していきたいと考えております。

また、学識経験者5名につきましても、今後人選を進めまして、年内には第1回の検討委員会を開催できますよう、準備を引き続き努めてまいりたいと考えているところであります。

以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があればご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

これで、その他報告事項を終了いたします。

◎閉会の辞

○鈴木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程はすべて終了いたしました。

これをもって、平成21年第10回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時26分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会委員長 鈴木 敏彦

会議録署名委員 土田 豊